



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。  
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に  
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

## 令和4年産の稲作に向けて 単収UPのヒントを探そう！



今年の天候を振り返ってみよう！

＜令和3年産米の作況指数は99となりました。＞

今年の天候を振り返ると5月に梅雨入りや、収穫時期の曇天の天候など、稲作への影響が考えられます。  
そのため、次作に向けて『次作に向けて改善ポイントのヒント』を探してみましょう！＞

### 【2021年の天候のイメージ】

5月（初期分蘖期） ⇒ 低温  
6月（いつもなら梅雨時期） ⇒ 高温  
7月（出穂期） ⇒ 低温・雨  
8月（収穫時期） ⇒ 前半干ばつ・後半雨



### 【天候による稲作への影響】

5月の低温 ⇒ ⇒ ⇒ 初期分蘖が不足・穂数（少）  
6月の高温 ⇒ ⇒ ⇒ 生育が回復  
7月の低温・雨 ⇒ ⇒ 粒数（少）に影響  
8月の前半干ばつ・後半雨 ⇒ 刈遅れ・胴割れ粒の発生

そこで、米の収穫量が低単収になる要因は2つ考えられます！

※他にも雑草が多かったなど、いろいろあるとは思いますが・・・

#### 考えられること①

＜**籾が少ない！**＞

- (a) ・ 穂数が少なかった？
- (b) ・ 粒数が少なかった？
- (c) ・ 粒大が小さかった？

- (a) ・ 元肥を少し増やす。
- (b・c) ・ 追肥を少し増やす。  
※中干しの時期や程度によっても出来が変わります。  
(砂土は、緩めの中干し。粘土は、しっかりと！)

#### 考えられること②

＜**選別後に少ない！**＞

- (a) ・ くず米が多かった？
- (b) ・ 色選下が多かった？

- (a) ・ 斑点米カメムシ類による不稔籾が増えた。  
(クモヘリカメムシ・イネカメムシ)
- (a) ・ 追肥時期の肥料が少ない（出穂期の葉色が薄い）
- (b) ・ 斑点米カメムシ類による被害粒が増えた。  
(ミナミアオカメムシ・ホソハリカメムシ)
- (b) ・ 刈遅れ（胴割れ粒の発生）

次作に向けて  
栽培のポイント！



### 【令和4年産米に向けての改善ポイント】

- ①穂数・粒数の確保
- ②カメムシ防除
- ③胴割れ防止



- ①イネの生育や葉色を見て、  
元肥・追肥の時期の肥料を少し増やしてみよう！
- ②カメムシ防除を適正に！（複数回の防除も必要になる）
- ③適期収穫を目指そう！（刈遅れない。早刈りしない。）

栽培の見直しポイントを見つけてみよう！

